

会 議 録

会議名	令和5年度 第4回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和6年1月21日(日) 午後1時30分～午後3時00分		
開催場所	星が丘一丁目自治会館 (Zoom と併用)		
出席者	委員	14人 (別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	4人 (中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 星が丘地区の課題について (2) 星が丘地区第46回ふるさとまつり・第13回ふれあいフェスティバル事業結果について (3) すずかけの木の利活用について (4) 令和6年度まちづくり会議について 4 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

2 あいさつ

竹田会長あいさつ

3 議題

(1) 星が丘地区の課題について

事務局から、星が丘地区の課題について資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

【「持続可能な事業・団体運営について」星が丘地区としてのスローガンについて】

○自治会の役員をするなかで、お金集めが一番大変である。役員として自治会費を集めることは当然という認識はあるが、募金だとなかなか集めづらい。募金についても、負担軽減となる方法を考えていく必要があると思う。

○令和6年能登半島地震の義援金についても、自治会ではなく地区社会福祉協議会が実施した方が集まりやすいと思う。

⇒○地区社協としては、公民館がリニューアルオープンしたら募金箱を設置する予定である。

⇒○相模原市老人クラブ連合会では、理事会で1回目の募金活動を行った。急遽だったため、今後の募金活動については検討の余地がある。

【気軽な生活相談会の開催】

○カフェやよい亭の課題は、利用者が固定化されていることである。より多くの人に利用してもらうために、周知の方法に悩んでいるので、今後検討していきたい。

⇒○口コミで、友達同士で来てもらうことが大事だと思う。

【高齢者について】

○4月から地域包括支援センターでスマホ教室を開催したいと考えている。できたら、2人の受講者に対して先生が1人付く体制で行いたい。

【災害時の対策について】

○地震が起きた際に心配なのは火事である。スタンドパイプ操作訓練を毎年実施しているが、恐らく自治会員の3分の1は使ったことがあると思う。準備や片付けが大変だが、初期消火に役立つので、今後も継続して実施していく必要がある。

(2) 星が丘地区第46回ふるさとまつり・第13回ふれあいフェスティバル事業結果について事務局から、星が丘地区第46回ふるさとまつり・第13回ふれあいフェスティバルの事業結果について、資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

○模擬店の出店料について、昨年度の4,000円から5,000円に引き上げたことで、高いという意見が出た。令和6年度は出店料を4,000円に戻し、ガス代や電気代等を500円ずつ引き上げるべきだと思う。

⇒○テントや電気等の委託料を考えると、出店料5,000円は決して高くなく、この事業を継続するためには、妥当な金額であると思う。もし出店料を下げるとするならば、テントや机等を自前で持ってくる人は出店料を下げる、といった方法も良いのではないか。

○模擬店の出店者を団体やお店だけでなく、個人も気軽に出席できるようにしたらどうだろうか。例えば、ブルーシートを1枚敷いて、誰でも気軽に参加できるフリーマーケットを開催すれば、より盛り上がると思う。

⇒○テントは不要で、ブルーシート1枚あれば良いという出店者がいれば、出店料を下げて、場所を提供しても良いかもしれない。

○学校のスプリンクラーが恐らくステージカーの重みにより壊れてしまった。来年度はスプリンクラーの設置場所を避けて、ステージカーを配置したい。

(3) すすかけの木の利活用について

事務局から、前回の会議で挙げたすすかけの木の利活用案について資料に基づき説明した。また、利活用方法の参考事例として、現在公民館の看板(サイン)等を製作している委託業者のカタログやイベントのチラシを委員に紹介した。

<主な意見・質疑>

○地域活性化事業交付金を利用するためには、作るだけではなく、地域の活性化に繋がるかどうかを考える必要がある。

⇒●例えば、子どもに対しては木育等の環境学習に繋げること、高齢者に対してはすすかけの木で作られたパズルで、脳の活性化を促し健康づくりに貢献すること等、地域活性化事業交付金の対象になるようなアイデアがあれば、交付金を活用できると考えている。

⇒○すすかけの木を利活用したい人がいれば、新たに団体を作って事業に取り組んでもらえばいい。利活用したい人がいなければ、事業は実施しないだけである。

○1物品1万円を超える財産(物品等)にかかる経費は、交付金は3分の2が交付されるという話だが、今回も当てはまるのか。

⇒●例えば、パズル等については物品に当てはまると考えられるが、1物品1万円を越えなければ満額が交付対象となる。

(4) 令和6年度まちづくり会議について

竹田会長から、令和6年度まちづくり会議においても公募委員の募集を実施することを報告した。また、まちづくり会議の開催希望日や時間について意見を募った。

<主な意見・質疑>

- 高齢者が多いなかで、夜間の実施は足元が危険である。令和6年度も日中が良いと思う。
- 平日は仕事で参加できないため、土日の開催だとありがたい。
- 日曜日は他の行事と重なることが多いので、可能であれば土曜日が良い。

<結果>

土曜日に開催を希望する意見が多かったため、土曜日に開催する方向で進めていくこととした。

4 閉 会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団 体 等	代表者氏名	団体での役職	出欠席
1	地区自治会連合会	◎竹田 幹夫	会長	出席
2	公民館	○後藤 陽子	館長	出席
3	地区社会福祉協議会	○坂本 洋三	会長	出席
4	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄	会長	出席
5	地区青少年健全育成協議会	井上 アヤ子	副会長	出席
6	地区子ども会育成連絡協議会	近藤 大助	会長	出席
7	星が丘小学校PTA	岡本 浩三	会長	出席 (Zoom)
8	青少年指導委員	高畑 由美子	地区長	出席
9	スポーツ推進委員	伊藤 福實	委員	欠席
10	健康づくり普及員協議会	杉原 美智子	委員	出席
11	地区老人クラブ連合会	石黒 雄彦	会長	出席
12	地域包括支援センター	柳下 恭子	センター長	出席 (Zoom)
13	地区交通安全母の会	富倉 亜紀	会長	出席 (Zoom)
14	消防団第4分団第4部後援会	立山 均	会長	出席
15	相模原交通安全協会星が丘支部	岩本 義昭	支部長	欠席
16	有識者	奥山 憲雄		出席
17	公募	杉本 千枝子		欠席

※◎、○はまちづくり会議での役職（◎：会長、○：副会長）